



今号の特集

低侵襲手術のおはなし

2022年
11月

待たずにラクへだ

会計待ち時間「待たずにラクへだ」サービスについて

令和2年6月25日から開始

かんたん手続き ・ 外来当日から使える ・ ご利用料無料

診察後、お会計を待たずにお帰りになれるサービスです。

(ご入院の場合は原則 ご入院前のご登録が必要となります)

- サービスのご利用には、『診察券番号』・『クレジットカード情報』等を事前登録いただきます。(登録料・利用料ともに無料です)
- 当日のお会計につきましては、ご登録されたクレジットカードから後日決済されます。
- 領収書については決済後、院内の専用発行機にて発行可能となります。

一部ご利用いただけないクレジットカードがございます。

発行 〒220-8521 横浜市西区みなとみらい3-7-3
一般財団法人 神奈川県警友会 けいゆう病院
TEL045-221-8181 (代表) URL <http://www.keiyu-hospital.com/>



低侵襲手術とは

低侵襲手術とは、お腹に数個の小さな穴を開け、挿入した細径内視鏡の映像をモニターで観察しながら、長くて細い特殊な器具を用いて行う手術です。従来の開腹手術と違い、体壁を大きく切り開かずすみ、術後の疼痛が低減されるなど大きな利点があります。

このため、術後の回復や社会復帰が格段に早く、傷跡が小さいことから美容的にも優れているなど、多くの特長を有しています。

低侵襲手術の発展を支えたのが、工学技術の進歩と医療への応用です。工学技術の進歩により、内視鏡の画像も格段に鮮明化し、内視鏡手術に必要な繊細な鉗子も数多く開発されました。

さらに最近では、医療用ロボットの応用により、人間の手の動きを超える手術操作ができるダビンチ手術が普及してきました。

低侵襲手術の進化形、ダビンチ手術

ダビンチ手術はロボット支援下で手術を行うもので、今までの低侵襲手術の利点をさらに向上させた進化版の手術です。複雑で細やかな手術手技が可能となります。

また3次元による正確な画像情報を取ることができるため、より安全かつ低侵襲の手術が可能となり、次世代の医療改革の一端を担った分野と言えるでしょう。

けいゆう病院は、このダビンチ手術を導入しています。当院では、泌尿器科領域に加え、胃がん、大腸がん、そけいヘルニアに対応しており、今後も適応疾患を順次拡大していきます。

低侵襲手術、さらにはその進化形であるダビンチ手術は、前述したとおりお身体にやさしい手術技法です。

低侵襲の手術をご希望の方は、ぜひ担当医にご相談ください。

消化器外科副部長

松田 睦史

